

借金
の
カタ

愛する
従妹は

カ
ク
ジ
ョ

売約済

成人向け
R18
ADULT ONLY

18歳未満閲覧禁止





そう
奏ちやーん!!

かえるよー!!

ぎゅ
ぎゅ

またあいつは...



うおみおみ
ぽん

小夏ちゃん毎日来るなあ。
返事なくていいの？

いい。調子乗るから



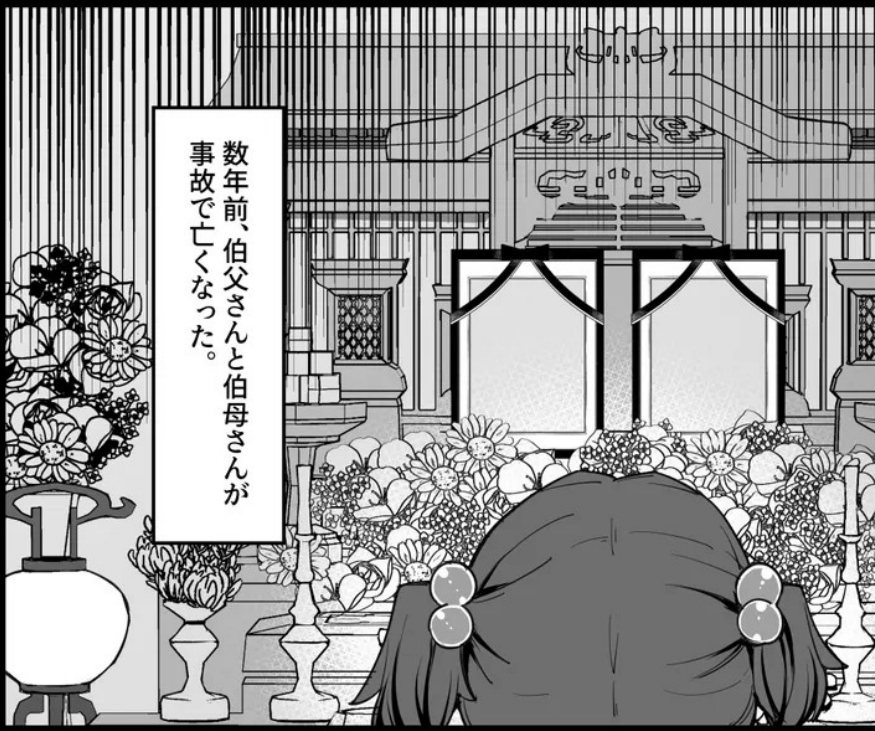
お前さあ...
あんまり教室で目立つようなこと
するなって言ってるだろ

奏ちゃんは私のもだっていう
牽制だよ牽制

あ、照れた？照れた？

.....

うぜえ...



数年前、伯父さんと伯母さんが
事故で亡くなった。



元々俺に懐いていた
小夏はウチで引き取る
ことになり、俺達は
兄妹となったが、



それまでまるで兄妹のようだった
俺達の関係は変わっていった



あの日、小夏に誓った瞬間から、



そういやお前昔は俺のこと
お兄ちゃんって呼んでたよな？
いつの間にか名前呼びになったけど

なにに？
お兄ちゃんって
呼んだほうが興奮する？

気になっただけだったの。
……いやちょっと興奮はするかも

まじっ



はぐ はぐ

にしてもよー食べるな…
まだ学校終わったばっかだぞ

夕飯あるからいらない

ほーひゃんあいいお?
(奏ちゃんはいいの?)



ねえねえちよつと腹ごしらえ
したいから寄ってこ!



むしゃあ...

ほんと幸せそうに食べてるけど、
この後…



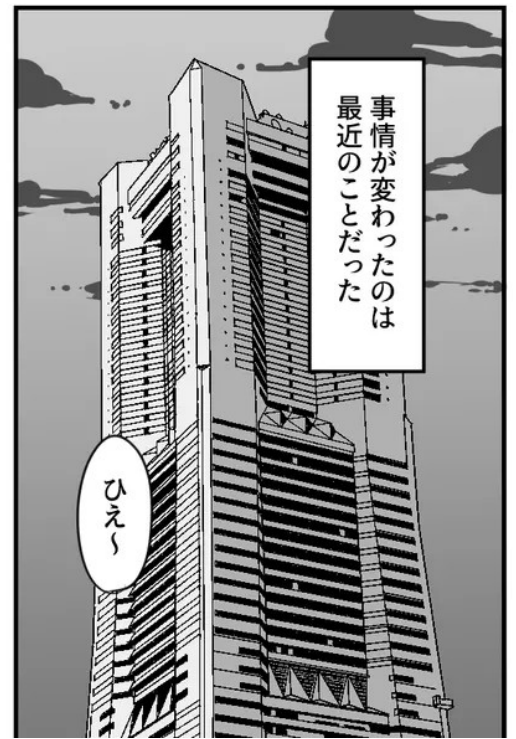
小夏の様子は不思議なほど
いつも通りだ

うめえ



なあに浮かない顔して?
ほらポテトあげるから元氣出して

いららないって





事業が立ち行かなくなったところで
取引先の一つから援助の申し出があった

わ、悪くないんじゃない…か？

そっか…えへへ…

ど、どう…かな…？



カキヤ

尻尾ちゃんと
入ってるか
確かめてよ

あ、行かなきゃ

あ、え…



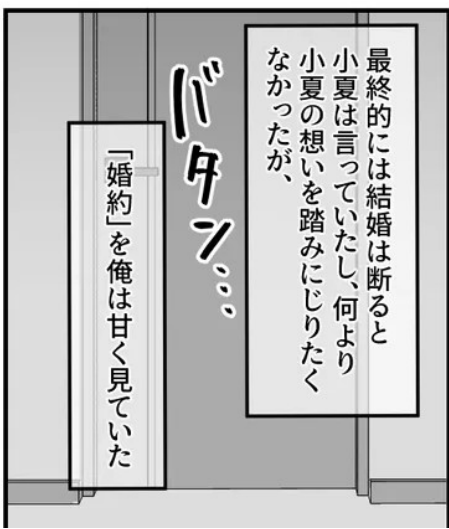
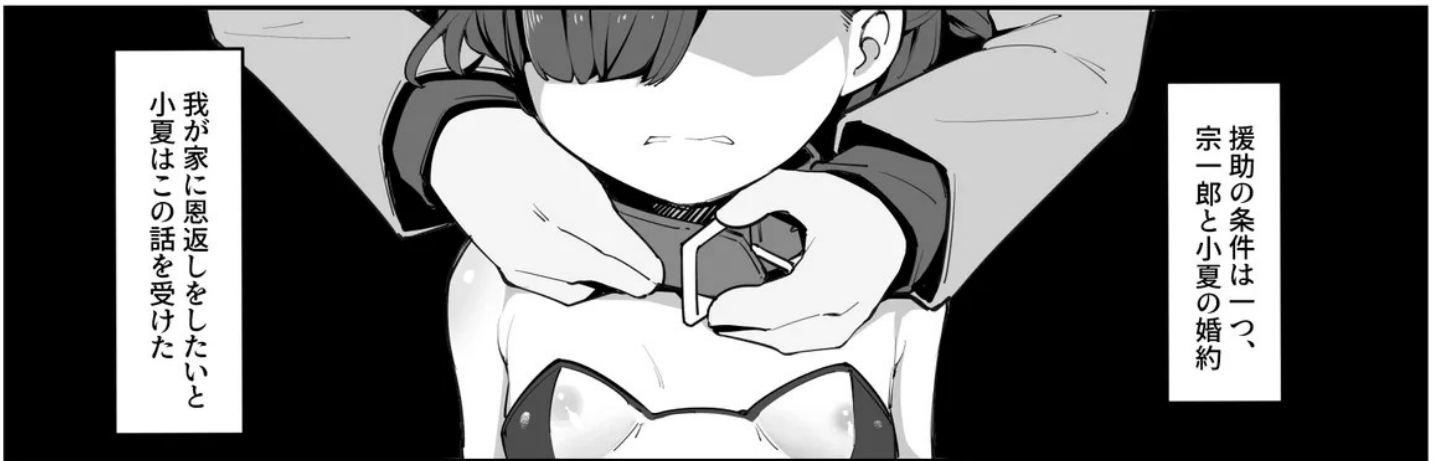
榎村宗一郎。
取引先である大手小売会社の
社長御曹司。

親の威光など必要としない
財界注目のスーパリエリートだ

親同士が同窓生とのことで
家族ぐるみの付き合いがある

お、なっちゃん着てくれたんだ。
めっちゃかわいい

キコメ





ここに居たくない、
でも離れられない

俺は何をしているんだろう

一定のリズムで腰を
打ち付けるような音

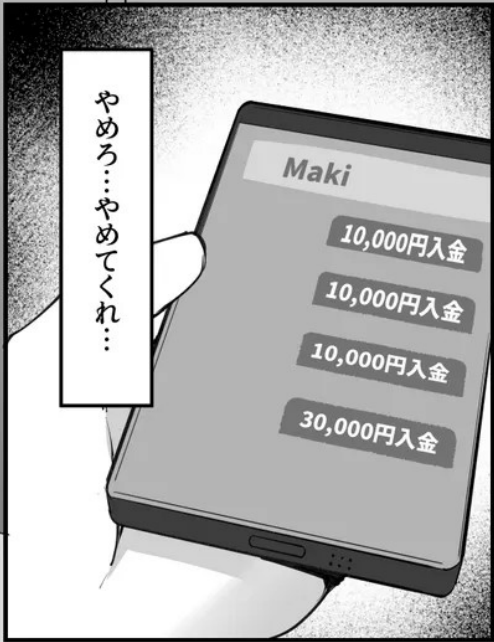
寝室から聞こえる
我慢したような微かな嬌声



扉の向こう側で行われている行為を
否が応でも想像してしまい、
惨めな気持ちで胸を締め付ける



下腹部に何か蠢くような、
重くのしかかる感覚を覚え、
また自己嫌悪に苛まれる



やめろ...やめてくれ...



あ、奏ちゃんおはよー

えっ…

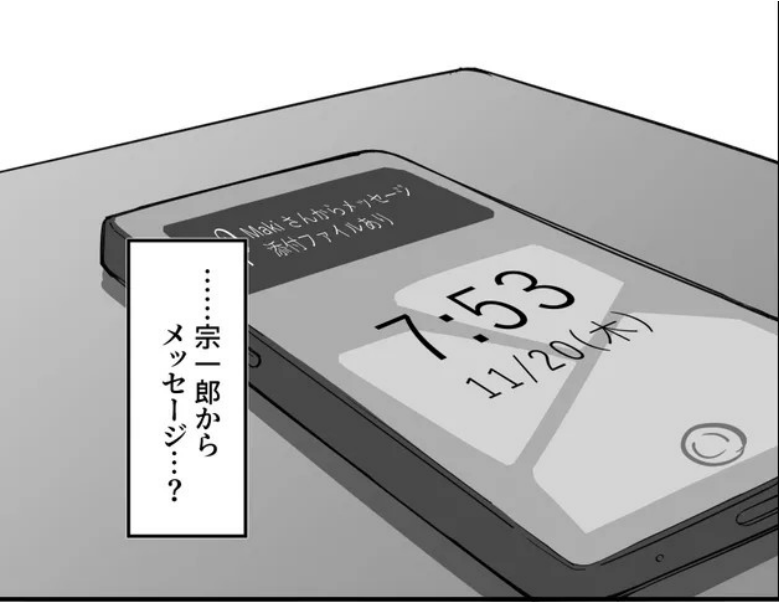
じゃ、私はもう出るけど、
愛妻弁当ちゃんと
見せびらかせながら
食べてよ？

小夏昨日ずっと…

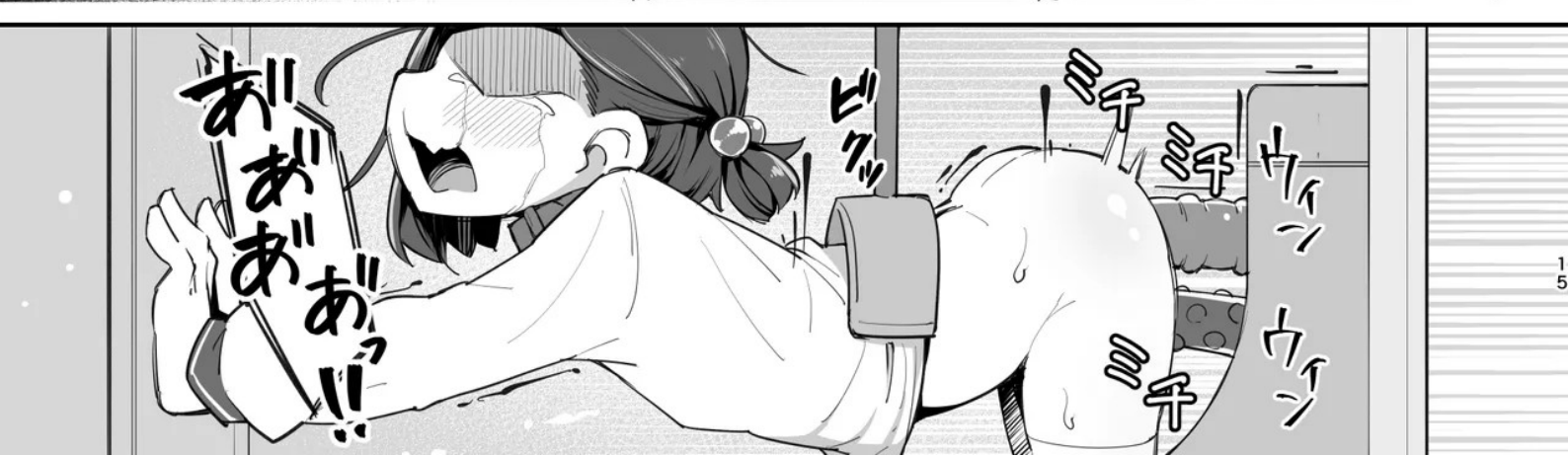
朝帰ってきたんだけど、
今日日直でさあ

ってもうこんな時間!?

ぎゅ









なっちゃん顔
すいこいことになってるよ

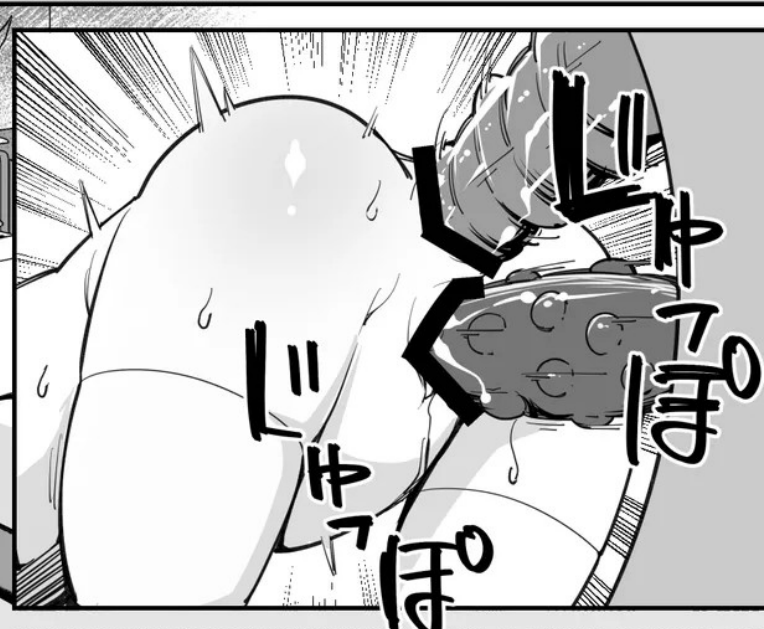
おあッ

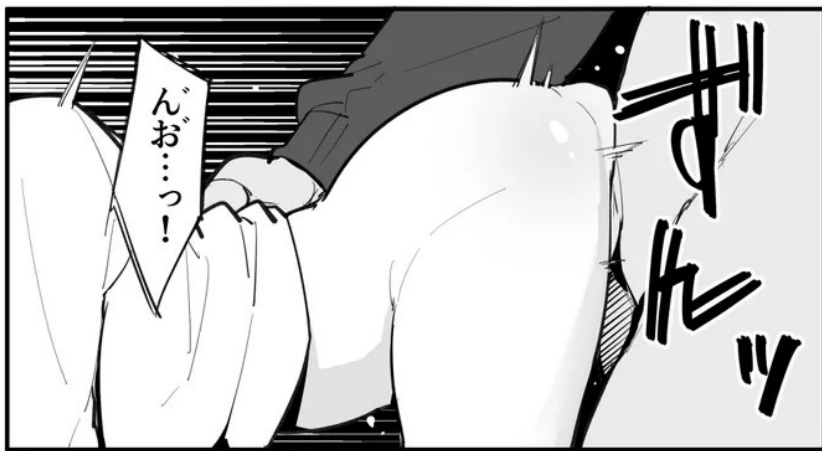
おあッ

おあッ
おあッ
おあッ



なっちゃん追い込まれると
やっぱかわいいなあ。
ちゃんと撮っとけよ











ちゃんと締めろホラ

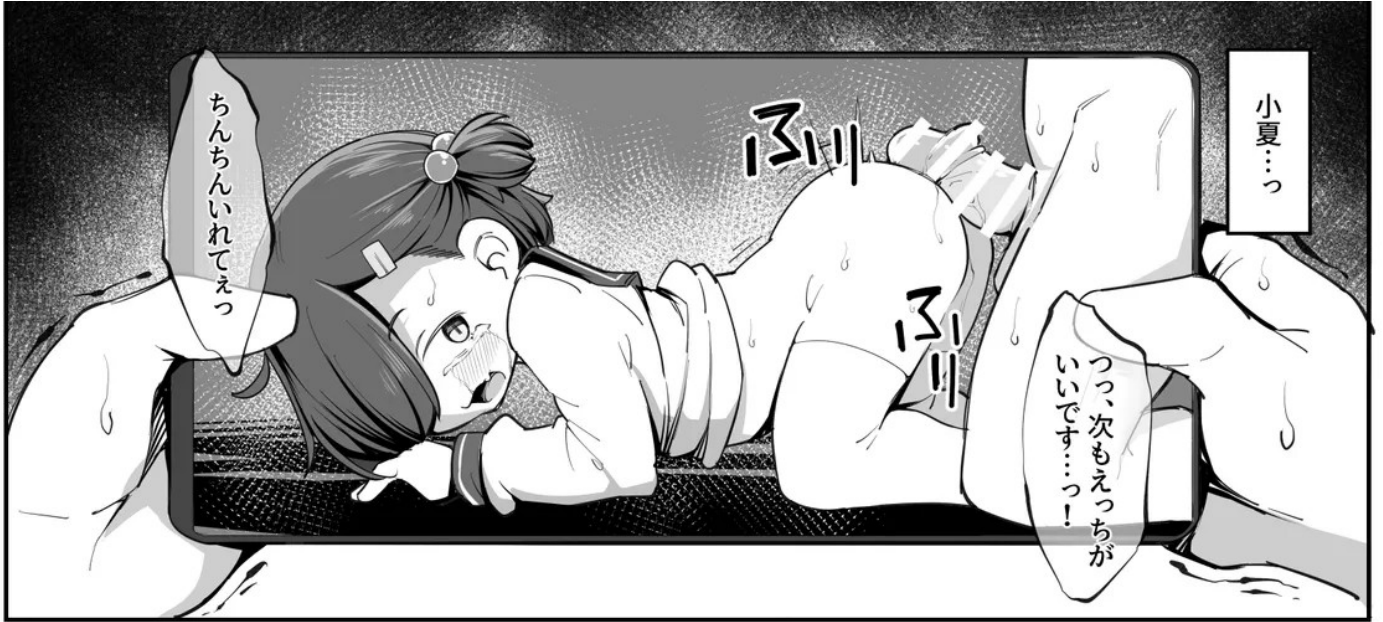
なっちゃんの大好きなチンポどうぞ...っ!

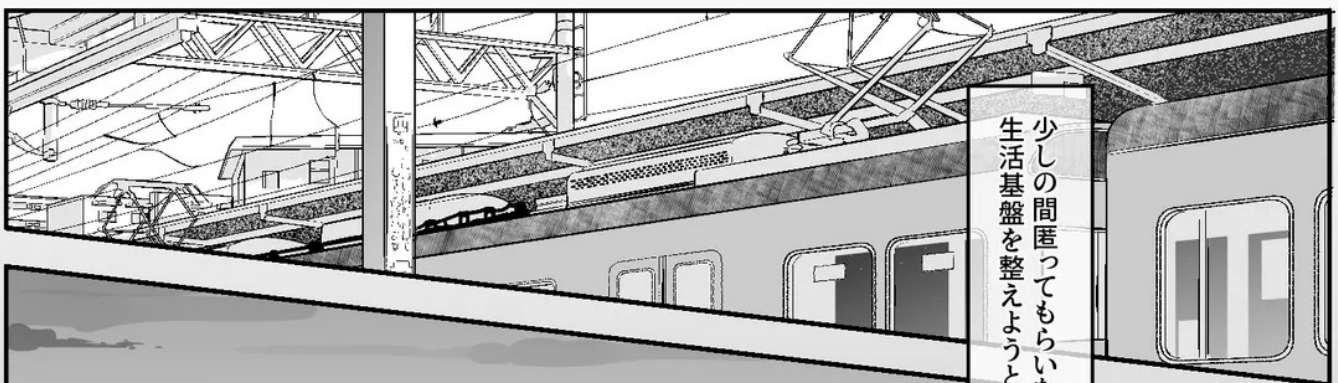


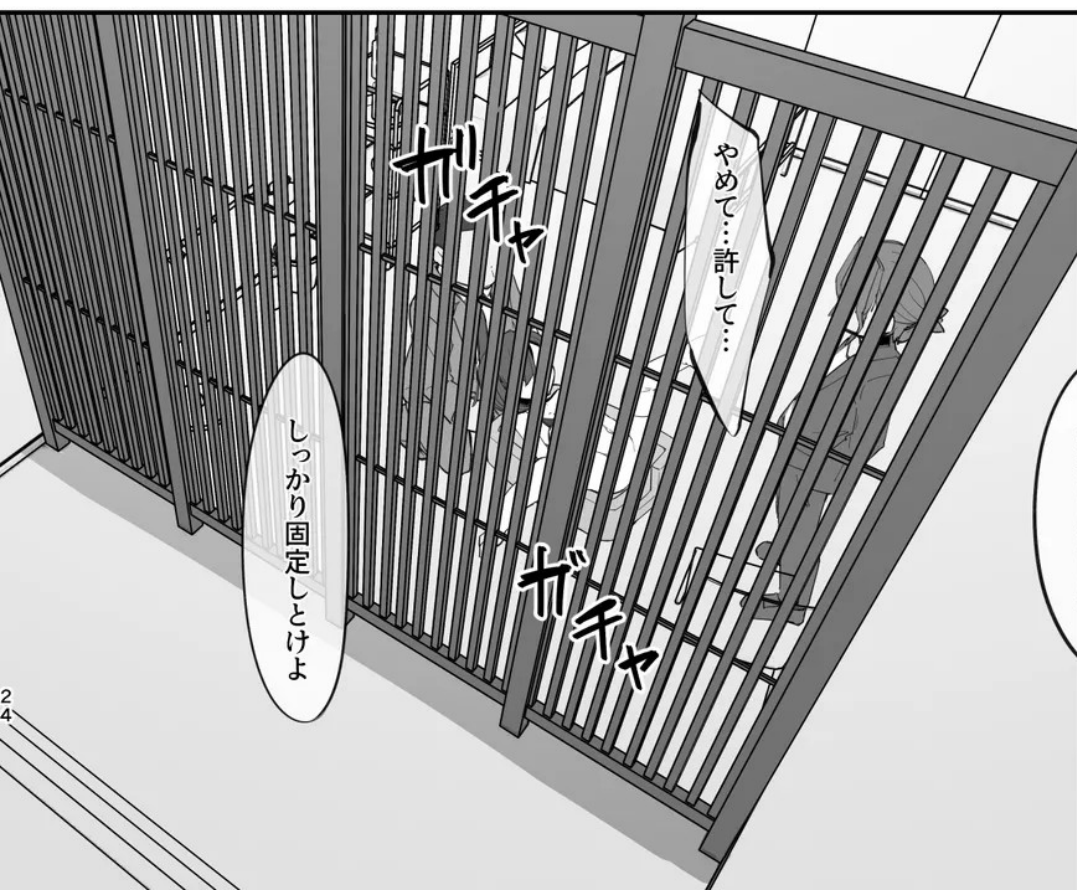
射精る...

あーいきそ...

ちっこい子宮で全部飲み込め...っ!









電源入れろ

おおっ

ビクッ

おおっ

ポリッ

ポリッ

ビクッ

ギョルルルル



こなつ…こなつは…許して…

ぜんぶ、俺が…悪い…から…

ビクッ

ぬぽっ

ぬぽっ

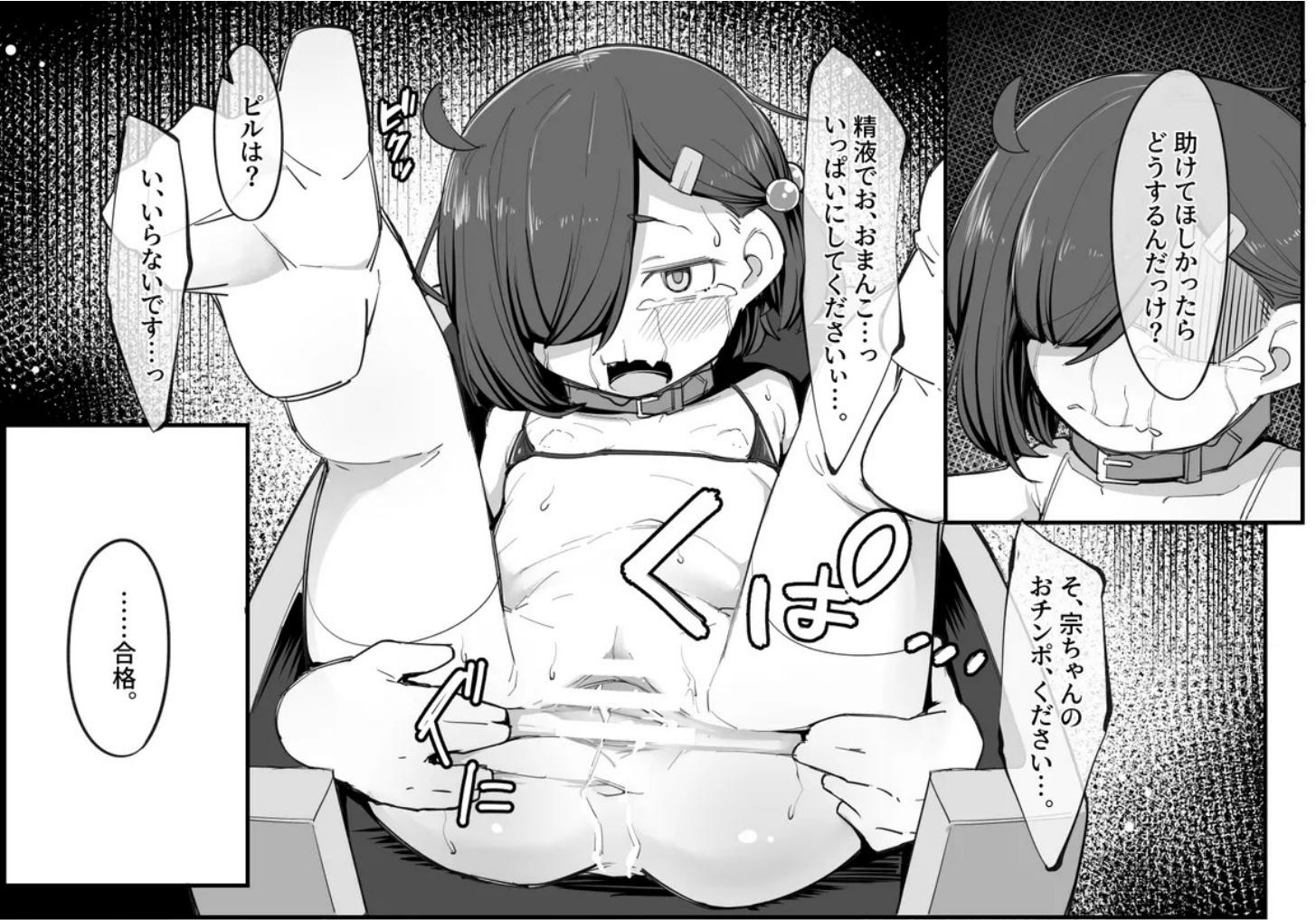
んー？聞こえないなあ？



まったく…逃げたりなんかしなきゃ多少自由にさせたげようと思ってたのに…

なあ奏真

しゅぽっ



ピルは？
いいらないです…っ

精液でお、おまんこ…っ
いっぱいにして下さい…っ



助けてほしかったら
どうするんだっけ？

そ、宗ちゃんのお
チンポ、ください…っ

……合格。



一気にブチ込むぞ…っ！

もっと足開け

ん…っ

あーまた
精液めちやめちや昇ってきた…っ

いくぞ…っ

孕めええ…っ!!

その後気を失うまで
2人の行為を見せつけられ、
起きたときには俺は家に戻っていた。

しかし、小夏はもう
帰ってこなかった。

表向きには婚約者として
宗一郎の海外事業に
付いて行ったということに
なっており、

親に何を聞いても
口を閉ざすばかりだった。

十数年後…

ほすっ

きゅっ

ある日、少し遠出した場所にある
ショッピングモールで、

幼い頃の小夏によく似た女の子を見た。

ニめんねえん…

ニ

彼女が探していたお母さんは
すぐに見つかったようだが、

あ！

おかーさん!!

俺はその姿を見る前に
踵を返してその場を後にした

あとがき

宗一郎さんから奏真への送金ルール

- ・小夏の絶頂で1万円
- ・中出しで3万円

※勝手に送られてくる

キャラ原案



■奥付■

発行日：2025年12月31日
発行元：アパラチ屋

連絡先：kabura_delicious@yahoo.co.jp
Pixiv：21560394
twitter：@kabura_oishii
※18歳未満の購入・閲覧禁止
無断転載・Webアップロード禁止



アパラチ屋